

令和6年度版／外食・中食産業の経営者向け専門誌 隔月刊『FoodBiz』（フードビズ）媒体資料

広告主の皆様へ（創刊22年目にあたり）

外食・中食産業に向けた専門誌『Food Biz』を発売して22年目に入ります。隔月刊で令和6年9月末までに131回発行しましたが、その反響の大きさに、いささか驚いております。「こういう専門誌が欲しかった」「現在の外食・中食産業の問題点をずばり指摘している」「本音がストレートに語られていて、気持ちがスーッとした」。このようなご意見が日々続々、私ども編集に届いています。

外食・中食ビジネスというものは面白いもので、実力も魅力も問題点もすべて店という現場に出てしまいます。店をみていけば、その会社、チェーンが何を悩んでいるか、どういう壁にぶちあたっているのか、がつぶさにわかります。そのすべてが白日のもとにさらされているのです。私たちは本部に行って精力的な取材活動もしますが、現場＝店まわりも欠かしません。表面的な取材で事足り、とせず、絶えず現場歩きをして、その会社なりチェーンなりが抱えている問題を探ってきました。その現場レポートも積極的に誌面に反映しました。否定的な側面もレポートし続けました。そのために企業から嚴重に抗議されることも一度ならずありましたが、私たちはそれにひるむことはありませんでした。真の姿をできるだけ現場に近いところから見続け報じることこそが私たちの使命であると考えているからです。そしてそのことが日本の外食・中食産業が質的に向上することになると信じています。

しかし圧倒的な支持、声援を受けて、私たちは大変に勇気づけられています。編集の基本方針は間違っていなかったのだと、確信するに至っています。私たちは外食・中食ビジネスで働くすべての人々を仲間であると思っています。私たちの最終目標は、この仲間が幸せになることです。仲間のすべてが、この世界で働いたことがよかったと、しみじみ思えるようにしたいのです。そのために、ともに批判し合い、切磋琢磨し合い、高め合っていきたいと、心の底から思っています。「幸せだった」と思える状況にはまだ道のりは遠いと思っています。つまり、私たちスタッフがやり残していることは、まだ山ほどあると考えているのです。

なお、単号としての購読料は、創刊号（平成15年1月）以来、1,650円（本体価格1,500円プラス消費税）でしたが、Vol.129（令和6年5月31日発行）より1,980円（本体価格1,800円プラス消費税）に改定致します。

併せて、年間購読料は、現在の8,000円から10,000円（消費税、送料込み）に改定致します。ご理解の程願います。

発行：(株)エフビー、発行人：神山 泉（かみやま・いずみ）

(株)エフビーとは：

当社は外食・中食産業にとって必要な情報を雑誌『FoodBiz』（フードビズ）、インターネットサイトならびにセミナーや講習会で提供し、業界の発展を全面的に応援していきます。

発行人：神山泉（かみやま・いずみ）の略歴

1947年生まれ。1972年早稲田大学法学部卒業後、柴田書店入社。以後『月刊食堂』を中心とした外食関連の取材活動と業界への提言を通じて、外食産業の発展に努力。同誌編集長、同社取締役編集部長を経て、平成14年7月に(株)エフビーを設立、さらに積極的な業界への発言を開始。その雑誌媒体が平成15年1月に創刊した隔月刊『FoodBiz』（フードビズ）である。

隔月刊『FoodBiz』（『フードビズ』）の媒体概要

『フードビズ』は外食・中食産業の経営者向け情報誌です。外食・中食産業について私達は40年強におよぶ取材経験を通じて培った人脈、情報力を駆使し主張のある専門誌を目指します。激変している現代の外食・中食ビジネスに適応したメディアです。

当社は、「エフビークラブ」（Food Business の略）を設立しました。このクラブは、外食・中食産業の「安全」、「安心」、「健康」に賛同する法人、個人によって構成され、会員相互の交流を図り、外食・中食産業の発展と社会に寄与することを目的として設立されています。この『フードビズ』は、このメンバーに対する機関誌として、平成15年1月に創刊、一般の書店売りはしていません。ロス・サーキュレーションが極めて少ないメディアです。

このクラブには、日本を代表する外食産業の経営者、例えばきわむ元気塾会長横川寛様（前すかいらーく代表取締役）、(株)吉野家ホールディングス会長安部修仁様、(株)フォーシーズ代表取締役会長兼 CEO 浅野秀則様、(株)リンガーハット名誉会長米濱和英様など現在約400社が参加。内訳は、外食・中食産業企業が全体の80%、残り20%がサプライヤーです。外食・中食産業の経営者が毎号読んでいるメディアです。したがって、広告主の広告メッセージは確実にこの読者層に到達します。

このメディアを競合他誌と比較すれば、外食・中食産業の経営者ならびにスタッフとの人的関係が他誌に比し、極めて優れています。加えて、個人の定期購読者の募集をこのメディアが発行される度に、『日経流通新聞』などに広告を展開しています。今や、「エフビークラブ」の機関誌としての占める割合が、総発行部数（12,000部）の3分の1、部数にして4千部、他方、個人の定期購読者が3分の2、部数にして8千部を占めています。個人の定期購読者とは、正に自分で居酒屋、レストランなどを経営している方々、或いは外食・中食産業に転業を志向されている方々です。

判型	B5判
ページ数	116P 前後
発行部数	12,000部
販売形態	すべて直接販売（書店販売せず）
創刊	2003年1月
次号 V132 発行日	令和6年11月30日、金
発行形態	隔月刊雑誌 1月、3月、5月、7月、9月、11月の各月末日発行
読者構成	外食・中食企業経営幹部 58% 同スタッフ 26% 外食・中食起業希望者 12% その他 4%
購読地域	関東 43% 東北 6% 北海道 5% 中部北陸 13% 近畿 16% 中国 4% 四国 2% 九州 10% 海外 1%
年齢別	三十台 40%、四十台 30%、五十台 20%、六十台 10%
男女比	男性 80%、女性 20%
発行人	神山 泉（かみやま・いずみ）
発行所	株式会社エフビー 東京都千代田区富士見 2-6-10 三共富士見ビル 302 〒102-0071 電話：03-3262-3522 F A X：03-5226-0630 e-mail: info@f-biz.com http://f-biz.com/

令和五年度版『フードビズ』広告料金表（一回の掲載料）

表四（フルページ、フルカラー）	500,000 円（日清製粉ウエルナ）
表二（フルページ、フルカラー）	450,000 円（ホシザキ）
表二対向（フルページ、フルカラー）	400,000 円（ヤマサ醤油）
表三（フルページ、フルカラー）	400,000 円（キーコーヒー）
目次対向一（フルページ、フルカラー）	400,000 円（寺岡外食ソリューションズ）
目次対向二（フルページ、フルカラー）	400,000 円（北日本カコー）
巻頭提言対向（フルページ、フルカラー）	400,000 円（日本洗浄機）
表三対向（フルページ、フルカラー）	380,000 円
奥付対向（フルページ、フルカラー）	380,000 円（シーバイエス）
記事対抗（フルページ、フルカラー）	370,000 円
フルページ、フルカラー	350,000 円
フルページ、モノクロ	200,000 円
三分の二ページ・モノクロ	170,000 円
三分の一ページ・モノクロ	100,000 円

年間 6 回ご出稿の場合上記単発料金の 10%引き、3 回で 5%引き適用。（消費税別途）

広告原稿の形態: 下記何れかの方法で制作願います。

■ 完全データ（MO） ■ データ及びカラーポジ ■ B 5 サイズ印刷フィルムと色見本
断ち切り版原稿の場合：安全範囲として、社名・マーク・コピー等は
仕上り面から夫々15mm以上内側に納めてください。

原稿サイズ: 1 ページ(天地 257mm×左右 182mm、B-5 サイズ)

1/3 ページ(天地 227mm×左右 53mm)、2/3 ページ(天地 227mm×左右 97mm)

Vol.132（令和 6 年 11 月 30 日発行）の広告原稿の締め切りは、来る令和 6 年 11 月 8 日、金です。

Vol.133（令和 7 年 1 月 31 日発行）の広告原稿の締め切りは、来る令和 7 年 1 月 10 日、金です。

創刊号から Vol.131（令和 6 年 9 月 30 日発行）までに広告出稿された主な広告主

食関連） コカ・コーラ、キリンビバレッジ、キリントロピカーナ、ADM Japan

キリンビール、サントリー、アサヒビール、サッポロビール、キーコーヒー、国分グループ

宝酒造、濱田酒造、高橋酒造、宮坂醸造、博水社、高橋ソース、林原、いちまる、マック

明治、森永乳業、ヤマサ醤油、キッコーマン、カゴメ、ミツカンナカノス、ワイテック

リプトン（ユニリーバジャパン）、創味食品、ソントン食品、富士食品工業、丸紅食料、三井農林、

大榮貿易公司、東京めいらく、イナサワ商店、デルタインターナショナル、EU BEE HONEY

吉野家、フォーシーズ、レインズインターナショナル、コロワイド、ホットランド、泰斗、

リンク・ワン、大戸屋、リンガーハット開発、米穀安定供給確保支援機構、米国食肉輸出連合会、

クレア・ファータ、JA 全農たまご、みらい、グローバルピックファーム、

外食産業関連） キヤノン、東芝キヤリア、東芝テック、エプソン販売、NEC プラットフォーム、

アルファクス、富士ソフト D I S、カシオ計算機、SII、TOMOWEL Payment Service

パナソニック ES 産機システム、ブラザー販売、コニカミノルタテクノプロダクト、

水野産業、サニクリーン、サラヤ、栄光社、サランラップ、ダスキン、k・カンパニー

ライオンハイジーン、シーバイエス、ファーストコレクション、エコラボ、日本食研

ぐるなび、久世、高瀬物産、トーホー、M マート、コトブキ、クリーンエア・スカンジナビア

シンプロメンテ、ワールドピーコム、イーグル産業、山木、ヤマトシステム、ダイニチ工業

リブオン・エンタープライズ、経産省、プロフィット・ラボラトリー、クリーンエア、カミナシ

タモ、ダイレイ、マルシン、みつや、相光技研、グッドビリーヴ、Beepnow systems

ノーリツ鋼機、イシダ、寺岡精工、寺岡外食ソリューションズ、日本フランチャイズ総合研究所

ホシザキ、フジマック、タニコー、マルゼン、ニチワ電機、ラショナル・J、グローリー

サンテックコーポレーション、三洋電機、福島工業、北沢産業、鈴茂器工、小林熱機、

イオン技研、倅生工業、シータス&ゼネラルプレス、国土緑化、アクシス、グーグル、

WMF、日本サエコ、メリタジャパン、日本レストランビジネス、JAM、EPARK グルメ

東京電力、東京ガス、北日本カコー、ブレッドビズケア、テクノウイング、ブリッジ、

パスラン、itk、アステップ、日本惣菜協会、服部学園、エス・ビー・エイ、グレイン・SP、

サティスファクトリーインターナショナル、NTT ぷらら、オリックスカードワイテック

エム・ワン、オーシン、リクルートジョブズ、リクルートライフスタイル、ClipLine、ラボロ

問い合わせ先：株式会社エフビー営業本部長齋藤武敏、携帯：090-2222-5218

Fax：045-710-0212、E-mail:saito@f-biz.com エフビーホームページ：<http://f-biz.com/>

オフィス住所：〒222-0004 神奈川県横浜市港北区大倉根台 9-18